

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 5 区分
 【発行日】平成 29 年 6 月 22 日 (2017.6.22)

【公表番号】特表 2016-522333 (P2016-522333A)
 【公表日】平成 28 年 7 月 28 日 (2016.7.28)
 【年通号数】公開・登録公報 2016-045
 【出願番号】特願 2016-520185 (P2016-520185)
 【国際特許分類】

D 0 1 F 2/06 (2006.01)

C 0 8 B 9/00 (2006.01)

A 6 1 L 15/28 (2006.01)

【F I】

D 0 1 F 2/06 Z

C 0 8 B 9/00

A 6 1 L 15/28 1 0 0

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 5 月 12 日 (2017.5.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

繊維形成性物質が (1 3) - グルカンである多糖類繊維の製造方法であって、前記方法は修正ビスコース法であり、C S₂ を (1 3) - グルカンを含む水酸化ナトリウム溶液に添加することを含む、多糖類繊維の製造方法。

【請求項 2】

前記 (1 3) - グルカンの少なくとも 90 % はヘキソース単位であり、前記ヘキソース単位の少なくとも 50 % が (1 3) グリコシド結合によって結合している、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記繊維がステープルファイバーまたは連続フィラメントである、請求項 1 または請求項 2 に記載の方法。

【請求項 4】

前記繊維形成性物質に対して、C S₂ を、30 重量 % 以下使用する、請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の方法。

【請求項 5】

C S₂ を (1 3) - グルカンを含む水酸化ナトリウム溶液に添加することを含む修正ビスコース法を用いて製造された多糖類繊維であって、繊維形成性物質が (1 3) - グルカンである、多糖類繊維。

【請求項 6】

前記 (1 3) - グルカンの少なくとも 90 % はヘキソース単位であり、前記ヘキソース単位の少なくとも 50 % が (1 3) グリコシド結合によって結合している、請求項 5 に記載の繊維。

【請求項 7】

前記繊維がステープルファイバーまたは連続フィラメントである、請求項 5 または請求項 6 に記載の繊維。

【請求項 8】

繊維製品の製造のための請求項 5 に記載の繊維の使用。

【請求項 9】

不織布、衛生製品、ならびにその他の吸収性不織布製品および紙の製造のための請求項 5 に記載の繊維の使用。

【請求項 10】

前記繊維がステープルファイバーまたは連続フィラメントである、請求項 8 または請求項 9 に記載の使用。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0035

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0035】

【表 1】

表1

| 実施例 | 繊維度 dtex | FFk cN/tex | FDk % |
|------|-------------|---------------|----------|
| 実施例1 | 1.7 | 17.3 | 19.1 |
| 実施例2 | 1.3 | 23.4 | 16.3 |
| 実施例3 | 1.5 | 21.8 | 18.1 |

FFk 繊維強度、正量

FDk 繊維伸び、正量

< 付記 >

< 項 1 >

繊維形成性物質が (13) - グルカンである多糖類繊維の製造方法であって、前記方法は修正ビスコース法である、多糖類繊維の製造方法。

< 項 2 >

前記 (13) - グルカンの少なくとも90%はヘキソース単位であり、前記ヘキソース単位の少なくとも50%が (13) グリコシド結合によって結合している、< 項 1 > に記載の方法。

< 項 3 >

前記繊維がステープルファイバーまたは連続フィラメントである、先行するいずれかの< 項 > に記載の方法。

< 項 4 >

前記繊維形成性物質に対して、CS₂を、30重量%以下使用する、好ましくは25重量%未満使用する、より好ましくは15重量%未満使用する、先行するいずれかの< 項 > に記載の方法。

< 項 5 >

修正ビスコース法を用いて製造された多糖類繊維であって、繊維形成性物質が (13) - グルカンである、多糖類繊維。

< 項 6 >

前記 (1 3) - グルカンの少なくとも 9 0 % はヘキソース単位であり、前記ヘキソース単位の少なくとも 5 0 % が (1 3) グリコシド結合によって結合している、< 項 5 > に記載の繊維。

< 項 7 >

前記繊維がステープルファイバーまたは連続フィラメントである、先行するいずれかの< 項 > に記載の繊維。

< 項 8 >

糸、織布、または編地等の繊維製品の製造のための< 項 5 > に記載の繊維の使用。

< 項 9 >

不織布、衛生製品、とりわけ止血栓、おりものシート、およびおむつ、ならびにその他の吸収性不織布製品および紙の製造のための< 項 5 > に記載の繊維の使用。

< 項 1 0 >

前記繊維がステープルファイバーまたは連続フィラメントである、先行するいずれかの< 項 > に記載の使用。

—